

## 2016 春季生活闘争に向けて 各地でブロック会議が開催される！！

すべての働く者の底上げを求めて  
闘い抜こう！



### < 2015 年度ブロック会議の開催にあたって >

2016 春季生活闘争は、1 月 22 日に開催された第 2 回中央委員会において闘争方針が確定され、各構成組織は要求策定の段階から提出へと展開されております。

2015 年度ブロック会議は春闘方針の確定を受け、全国 4 つのブロック（北海道・東日本・中日本・西日本）において 2016 春季生活闘争における連合方針ならびに印刷労連方針の理解を深めるべく、各地で開催されました。

今次闘争は、「デフレからの脱却」と「経済の好循環」を目指すために「底上げ・底支え」「格差是正」をキャッチフレーズに掲げ、中小企業で働く仲間や非正規雇用労働者に光を当て、従来からの大手追従・大手準拠から転換できるかが大きなポイントとなります。過去 2 年間にわたり一定の賃上げが実現できたものの、産業間格差や企業間格差はより一層広がったと言わざるを得ません。これらを払拭するべく 2016 春季生活闘争は、将来に向けた試金石といっても過言ではありません。それぞれの構成組織において、春闘方針に則りすべての働く者の底上げを求めて闘い抜くことを願います。

## 北海道ブロック会議

2 月 10 日（水）に北海道ブロック会議を開催しました。

今回は印刷労連本部の派遣として釣本委員長にお越し頂き、春季生活闘争に関する説明を頂きました。春季生活闘争の基本的な知識、ベースアップの考え方、労使交渉のあり方など、我々北海道メンバーのレベルに合わせて解りやすく説明頂けたため、非常に理解が深まりました。

続いて、印刷労連の 2016 春季生活闘争方針について説明を頂きました。北海道経済は相変わらず厳しく、連合や印刷労連の方針で掲げるベースアップは非常に高い要求水準となります。しかし、これから要求書を作成するタイキユニオン川崎委員長、中央広版社労組千葉委員長にとって貴重なガイドラインであり、交渉の後ろ盾となってくれるものと信じております。

毎年、北海道ブロック会議は「さっぽろ雪まつり」の開催期間中であり、まだまだ寒い時期が続きます。暖かい気温と暖かいベースアップ回答、2 つの春の訪れが待ち遠しいです。



釣本委員長による講演



ブロック会議の様子

## 東日本ブロック会議

2月6日(土)、友愛会館にて東日本ブロック会議(4地協・44名出席)を開催いたしました。冒頭、田倉委員長代行より「印刷労連 2016 春季生活闘争方針」について説明を頂き、連合がポイントとする「底上げ・底支え」「格差是正」を骨子とした、私たち印刷労連のあるべき姿への方針を共有しました。

その後、14構成組織より、現時点における今春闘に向けた取り組みの「報告会」を実施し、参加者との意見交換を行いました。

そこでは各労組の労働条件要求案を中心に、活発な意見交換がされました。閉会挨拶は宍戸書記長より、各構成組織の春闘取り組みへの激励の言葉、また「連合白書」にある「現状と課題」の統計資料には、実に多くのポイントが盛り込まれており、要求案策定に向け、参考にすべきとのアドバイスを頂きました。終了後、「躍進の集い」を行い、今春闘が成功裏におわることを誓い合いました。



田倉委員長代行挨拶



参加したメンバー



宍戸書記長による閉会挨拶



報告会

## 中日本ブロック会議

1月30日(土)～31日(日)に京都府の然林房にて中日本ブロック会議、兼 2016 春季生活闘争討論集会を開催しました。本部から田倉委員長代行と大塚副委員長にご出席いただき、大阪地協より6組織26名、京滋地協より5組織23名、愛知地協より4組織6名、石川地協より3組織16名の総勢73名の参加で盛大に行われました。

中日本ブロック会議では、田倉委員長代行より、「印刷労連 2016 春季生活闘争方針」の説明を受け、その後、今期印刷労連として掲げている運動方針でもある「雇用の安定と労働諸条件の維持向上」を実現するべく「ワーク・ライフ・バランスの観点からの多様な働き方」を目指すためにも各構成組織で様々な制度構築が必要であることについて講演をしていただきました。

その後、2016 春季生活闘争討論集会の基調講演では、J.union 代表取締役会長である

西尾 力氏より、「労働組合の10の改造計画～21世紀型労働組合の理論と手法～」というテーマでご講演いただきました。講演では自分達の仕事・組合を良くするためにはプロフェッショナルの集団になるために、①変化対応力②顧客価値提供力③ソーシャルスキル力が必要であることや、組織運営(マネジメント)の改革では、リスニング(傾聴) コーチング(質問) アサーション(自己表現)が組織を活性化するためにも必要であるとお話いただきました。

翌日には、5つの分科会に分かれ「目指すべき組合活動とは」というテーマで、各労組における労組の現状の課題、組合の存在価値や今後どのように組合役員として、役割を担っていく必要があるのかについて話し合いました。春季交渉に臨むにあたって情報交換ができ、有意義な2日間となりました。



大塚副委員長挨拶



ブロック会議の様様



田倉委員長代行による講演



石山議長(コクヨ労組)



分科会の様様



J.union 西尾講師による講演



分科会発表をする吉川幹事

# 西日本ブロック会議



田倉委員長代行挨拶

2月7日(日)に西日本ブロック会議を、福岡市サンライフホテル会議室にて開催。

熊本地協の山見阪議長からの開会挨拶で始まった今回のブロック会議では、来福された田倉中央執行委員長代行からの'16春季生活改善交渉に向けた印刷労連としての基本方針に関する説明を受けて、春季生活闘争に向けての情報の共有化を図った。併せて、これまでの春季生活闘争における歴史的背景及び日本の経済状況と雇用状況・基本賃金の推移について講義頂き、今期の春季生活闘争に向けての組合の基本姿勢を確固たるものとする事ができた。

また、各単組毎の春季生活改善交渉要求案についての情報交換と活発な意見交換を行うことができ、今回のブロック会議に参加した各地協の青年委員においては、春季生活闘争のあり方や組合の要求としてのあるべき姿に触れることができ、非常に有意義な会議となった。

最後は福岡地協・樋渡幹事から閉会の挨拶のなかで、これからの春季生活闘争に向けた意気込み並びに、これから組合活動におけるメンバー各々が士気を高めてしていくことで、今後の西日本ブロックの更なる躍進を誓った。



田倉委員長代行による講演

## 中央委員研修会に関するアンケート 集計結果

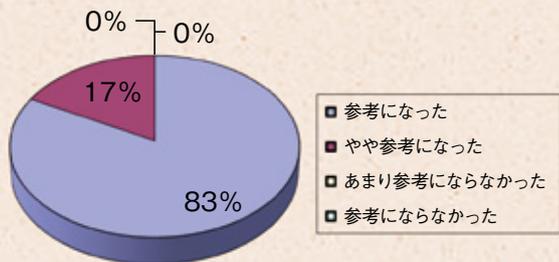
■テーマ：「2016年春季生活闘争方針について」

すべての働く者の処遇を改善！「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環を実現！

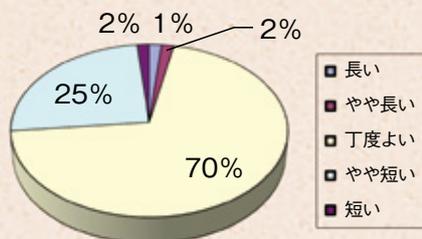
■講師： 連合 総合労働局 須田 孝氏



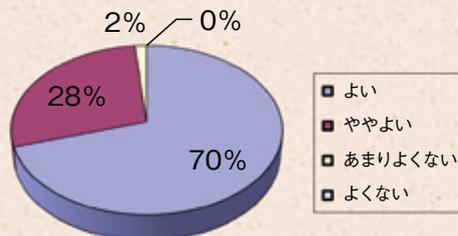
Q1 講義のテーマについて



Q2 講義時間について



Q3 講師について



<研修で取り組みたいテーマなど>

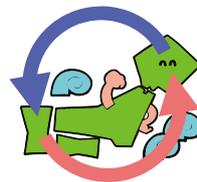
- ・来年も同内容でお願いしたい
- ・若い中執、中央委員が多くなってきたので連合の歴史など
- ・今回同様の話を聞く機会は毎年あるべきと思う
- ・連合春闘方針を毎年聞きたい
- ・労働基準法など労働者にかかわる法制
- ・明るい職場、意識改革の取り組み事例、交流
- ・会議後の研修なのでただ聞くだけでは辛い
- ・グローバル労使関係の実例
- ・連合の考え方が直接伝わり大変参考になった
- ・ダイバーシティ関連の労働組合対応について
- ・連合の方針がよく理解できた
- ・印刷業界の現状を賃金、労働条件から分析して講義いただきたい
- ・格差の改善について
- ・労働法関連について、正規と非正規問題(格差)について
- ・メンタル面やパワハラ等の対応など、他の会社、業種はどうしているのか聞いてみたい
- ・保障、保険の考え方について(FPによる)、組合員にどのようにアドバイスするのか
- ・中小の組合を対象とした講演を企画してもらいたい。中小の悩み、相談など
- ・21世紀の労働組合について
- ・現場の安全の取り組みについて
- ・同業他社、競合他社の情報分析について

<研修全体を通じて>

- ・印刷労連としての方針の立て方、闘争方針については一考必要であると感じました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・いつも聞かない連合の方の話を聞いて参考になった。少しだが連合の取り組みを理解できた
- ・非常によかったと思うとともに、重要であると感じました。
- ・このような研修会を数回開催していただけたら、私自身のレベルアップに繋がると感じた
- ・初めての事で大変参考になりました。
- ・機会を見て様々なものを提供いただきたい。
- ・もう少し早いタイミングで聞きたい話でした。
- ・今後の組合活動に活かしたい。

# 構成組織 ご紹介!

# 北から南から



## 名鉄局印刷労働組合 (執行委員長: 村波 幸希)

名鉄局印刷労働組合は、結成 56 年目を迎えました。会社は東京・名古屋・大阪に拠点をもち、オンデマンド印刷からオフセット輪転印刷まで幅広く取り扱っています。特に学参物を得意としており、中でも数式の品質には定評があります。会社の業績も悪くありません。…が、近年、組合員の高齢化、退職者の増加により組合員が激減し、活動もままならなくなっておりました。しかし印刷労連本部によるオルグ活動のご協力、地方協議会の各単組の皆様のご強力なバックアップにより組合員を倍増させることができました。社員のお大半が組合員となったことは大きな成果です。ただ、組合員も新規加入者ばかりで、三役をはじめ執行役員も未経験者ばかりです。再スタートを切ってまだ期間が短いのでまずは意義を浸透させ、活動を軌道にのせることに力を入れていきたいと思っています。

さて、例に倣って名古屋名物などの紹介。味噌カツがうまい、とかいう話は聞き飽きたとは思いますが、本社の隣に「まる中」という古きよき昭和の香りが漂う食事処があります。安い・早い・旨いが三拍子揃った店で、味噌カツも美味です。いわゆる名古屋名物として出る味噌カツとは一線を画すものですが、これがくせになっているファンも多いようです。名鉄局印刷にお立ち寄りの際はぜひご賞味ください!



## 大平印刷労働組合 (執行委員長: 古田 誠)

大平印刷本社のある京都の伏見という地名の語源と言われる「伏し水」とは、伏流水もしくは地下水のことで、良質の水が豊富にあることから酒蔵がたくさんできたとされ、現在も多くの酒造会社が建ち並んでいます。また伏見の中心部は、豊臣時代に秀吉の居城であった伏見城の城下町で、その昔多くの大名の上屋敷、下屋敷があった名残から、桃山町正宗、桃山最上町、桃山町三河、治部町、毛利町、景勝町などの他、今でも町名に戦国武将オールスターの名前が入っているところがたくさんあります。大平印刷は京都本社の他、東京の日本橋に営業所があります。事業内容としては宝ホールディングス株式会社を株主とし、グループ会社である宝酒造のラベルを含むパッケージ印刷、宝酒造の他多くの取引企業様の商業印刷物や教育図書など幅広いご注文に対応させていただいております。その中でユニバーサルプリンティングへの取り組みや、チャリティーペーパーの推進、カラーユニバーサルデザイン支援ツール「バリエントール」の販売、さらには Web プロモーション事業、京都の総合情報ポータルサイト「デジスタイル京都」なども運営しています。

労働組合の結成は 1961 年 9 月で、幾多の歴史を経て本年 9 月をもって結成 55 年となります。組合活動は大部分の組合員が在籍する京都本社を中心に、東京営業所の組合員とともに活動しています。印刷労連では京滋地協の一員として活動し、また宝グループ内においてもグループ内の各労組（他産別）と日常的に相互交流を図っております。

今後も印刷労連構成組織の皆様と様々な機会を通じ情報交換を行い、共通課題に向け取り組んでいきたいと考えております。



### 編集後記

冬の厳しい寒さも和らいできて、少しずつ暖かくなるにつれて、春の訪れを感じるようになってきました。春の訪れと同時に花粉症の方にとってツライ季節がやってきます。花粉症の方で喫煙、お酒を飲まれる方には是非知っておいていただきたいのですが、タバコとお酒は花粉症の症状を増幅する要因のひとつです。タバコに含まれる化学物質が鼻の粘膜に刺激を与えることで、お酒についてもアルコールを摂取すると鼻の粘膜に充血やうっ血を起して鼻づまりの原因になるようです。喫煙者とお酒を飲まれる方には頭の痛い話ですが、何事もほどほどになさって下さいね。

教育・広報委員会

石山 浩司



上記QRコードから、是非、印刷労連HPもご覧下さい

連合

印刷労連

労働相談ダイヤル  
03-5442-0191